

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
 (仮称)ケアホームふるさと春日野

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境			0.40					2.4
1 音環境		1.8	0.15	2.2	1.00			2.0
1.1 騒音		1.0	0.40	3.0	0.40			
1 暗騒音レベル		1.0	1.00	3.0	1.00			
1.2 遮音		3.0	0.40	2.2	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能				1.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				2.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		2.2	0.35	2.2	1.00			2.2
2.1 室温制御		2.2	0.50	2.2	0.50			
1 室温設定		3.0	0.63	3.0	0.63			
3 外皮性能		1.0	0.38	1.0	0.38			
4 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		2.0	0.25	3.1	1.00			2.5
3.1 昼光利用		1.8	0.30	2.5	0.30			
1 昼光率		1.0	0.60	2.0	0.50			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		1.0	0.30	4.0	0.30			
2 昼光制御	室内にカーテン及び外部に庇設置し日差しを制御	1.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00			3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を使用	3.0	1.00	3.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.2
1 機能性		2.2	0.40	1.4	1.00			1.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	1.0	0.60			
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応				1.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		1.0	0.40	2.0	0.40			
1 広さ感・景観				3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性		2.6	0.31					2.6
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		2.5	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.3 信頼性							
2.4 信頼性			2.2	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20			
3	電気設備		1.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			2.6	0.29	2.3	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり					1.6	0.50	
1	階高のゆとり				2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.6	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		1.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	敷地南面の法面を緑化	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40			3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネル設置	4.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		省エネタイプの照明器具採用	3.6	0.40			3.6
4 効率的運用							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			2.2	0.15			2.2
1.1	節水		1.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00			
2	雑排水再利システム導入の有無						
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63			2.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上部材が容易に分離可能	4.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32			
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68			
1	消火剤	ハロン消火剤は使用しない	4.0	0.33			
2	断熱材		2.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33			3.0
2 地域環境への配慮			2.2	0.33			2.2
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		1.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33			2.7
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2	風害、日照障害の抑制		3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3	光害の抑制		1.6	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			